

▼「成寿」も第8号を刊行することができました。本号の為に、東京大学教授の鎌田茂雄先生に玉稿をお願いしましたところ、ご多忙の中を快よくお引き受け下さり、感謝にたえません。

▼五月の不動明王大祭の折、お話をしていたいただいた遠藤太禅老師は遠く会津よりお出掛けくださいました。が、その折の法話を載せてあります。ご老師の益々の法躰堅固をお祈りします。

▼今年の住職の海外日程は、三月のインドを皮切りに、実に多忙を極めました。六月にニューヨークのゼンマウンティン・モナストリイとゼン・コミュニティオブニューヨーク

に表敬訪問。九月にはタイ・ワットパクナム拝登。ひき続き十月にも小谷氏祝賀の為渡タイと、海外留学僧派遣育英会の基礎固めに各地を回りました。今後更に充実した受け入れの要請をすすめて行く考えです。

▼海外留学僧からのレポートが続々届けられています。多少頁数がふえましたが、前回、前々回とアメリカの報告を下さった河内義宣師とはまた、別の角度から見たアメリカの禅について、島崎師のレポートの全文を掲載しました。はじめて接する異国の禅に対する率直な私見に、読者の皆さま方の忌憚ないご意見とお導きを頂戴したいと思います。

▼十一月二十八日、念願の不動明王の眷属である矜羯羅・制吒迦の二童

子が、めでたく完成のはこびとなり、開眼法要が営まれました。大仏師錦戸新観先生のご臨席を賜わり、導師は本寺光真寺の黒田俊雄老師が務められました。

▼上智大学アジア文化研究所とフランスのパリ第七大学主催による第二回日仏セミナーが、十二月八日、パリ第一大学に於て開催されます。学会出席の要請を受けた当山住職は、「新しい寺院経営を求めて」というテーマで発表します。詳細については次号でお伝えする予定です。(小)

#### 成寿 第八号

昭和六十二年十二月一日発行

発行所 成寿山善光寺

横浜市港南区日野町一六〇四

電話 〇四五(八四五)一三七一

印刷所 神奈川新聞社出版局

縁生かんのん

たつた一度の出会いを  
大事にしよう

逢つた時が別れと知れば

出会いの不思議を大事に思う

縁なければ

永遠に逢い得ぬものを

友人となり仇となるとも

出会いの縁は

観音さまは知っています

四十億もの人の世に

たつた一度でも

出会いの人の誰であろうと

胸にきざみ大切にしよう

唯一度の人生のために

(遠藤太禅「観世音声を限りに」から)





横濱善光寺